

平成30年度

ボランティア入門講座

ボッチャ～講演＆体験～

2016年リオパラリンピックのメダリストが所属する「市原ボッチャクラブ」をお招きして、“ボッチャと障がい”についての講演と“ボッチャ”の体験を通し、障がいへの理解と意識を深めます。

日時：7月5日(木)13:30～16:00

会場：総合福祉保健センター6階 大会議室

講師：市原ボッチャクラブ

内容：第1部 講演
第2部 ボッチャの体験



対象者 興味や関心のある方はどなたでも
※手話通訳を準備します

募集人数 50名(申込先着順)

募集〆切 6月29日(金)

申込み 鎌ヶ谷市社会福祉協議会 ボランティアセンター
☎ 047-442-2940 FAX 047-446-4545

*FAXでお申し込みの際は、お名前・電話番号をご記入ください。

【共催】

社会福祉法人鎌ヶ谷市社会福祉協議会 ボランティアセンター
鎌ヶ谷市ボランティア連絡協議会

“ボッチャ”って、どんなスポーツ？

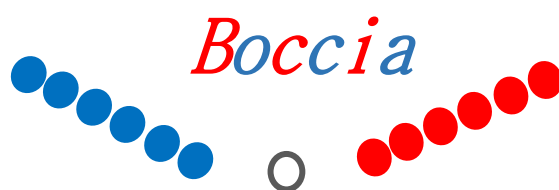
ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

障害によりボールを投げることができなくても、勾配具（ランプ）を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。競技は男女の区別なくのクラスに別れて行われ、個人戦と団体戦（2対2のペア戦と3対3のチーム戦）があります。

障害の程度によりクラスが分かれており、同じクラスの選手どうしが対戦します。

1992年のバルセロナ大会からパラリンピック公式競技になり、日本勢は2008年の北京大会から出場しています。



市原ボッチャクラブの紹介

皆さん、こんにちは「Boccia ボッチャ」…って、ご存じですか？

「ボッチャ」はパラリンピックの公式競技で、2016 リオデジャネイロ大会では日本代表が、団体戦で初めて銀メダルを獲得しました。

「ボッチャ」は、身体障害を持った方々の競技ですが、近年では高齢者や小学生の“誰にでも簡単にできる楽しい”「生涯スポーツ」として大注目のレクリエーションです。

「市原ボッチャクラブ」は、「誰もが健康で楽しみながら交流や社会参加してほしい」とのスローガンのもと、平成14年4月に発足。現在、選手は、リオパラリンピック大会日本代表銀メダリストの廣瀬隆喜選手をはじめ、千葉県ボッチャ強化指定選手4名を含め選手22名、サポートボランティア11名の総勢33名所属、『2020東京オリンピック・パラリンピック』を目指して月間8回の定期練習を実施しています。

「市原ボッチャクラブ」として「ボッチャ」の強化練習はもちろんですが、「生涯スポーツ」として、地域の方々も楽しめるデリバリー体験会を実施しています。